

## 検討のイメージ

### 1 検討に当たって

- 人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域力の維持・強化を図るためには、地域外の人材を誘致し、その定住・定着を図る取組を進めることが重要である。
- UIJ ターンなど地方圏へのヒトの流れを創出するため、地方自治体においては、移住・交流施策に積極的に取り組んできている。
- 一部地域に田園回帰の兆しは見えつつあるも、いまだ地方圏から東京圏への人口の流出が続いている。
- 一方、人々のライフスタイルも多様化し、生まれ育った地域や過去の居住地に加え、いわゆる「二地域居住」を行っている地域やボランティア活動などを通じて縁のできた地域など、地域とのつながりが多様化している中で、現在の居住地以外の地域、ふるさとを応援したいと考える人々も増えてきているのではないか。
- このような人々の潜在的なふるさととのつながり、関わりを深め、貢献したいという思いを、ふるさとへの地域づくりに生かしていくことが今後さらに重要になっていくのではないか。
- そこで、これまでの地域での移住・交流を進める取組の成果と課題を踏まえ、ふるさとへの思いを地域づくりに生かす仕組みを含め、今後の移住・交流施策のあり方を検討する。

### 2 移住・交流施策の現状と課題

- 移住・交流施策に関連した総務省の取組と成果にはどのようなものがあるか。  
  
(地域おこし協力隊、地域おこし企業人、子ども農山漁村交流、ふるさとテレワーク、ふるさとワーキングホリディ、お試しサテライト 等)
- さらに地方圏へのヒトの流れを創出するためにはどのような取組が考えられるか。

- これまでの移住・交流施策は、どのようなことを目的として取り組まれているのか。(移住・定住人口の増加、交流人口の増加、地域への理解を深めること、経済波及効果、等)
- さらに移住・交流施策を進めるに当たって、どのような視点、観点で取り組むことが求められるのか。

### 3 ふるさとへの思いを地域づくりに生かす新たな動きと支援策

- 住民以外の特定の者と地域とのつながり、関わりを深めるための新たな動きにはどのようなものがあるか。  
  
(ふるさと納税、ふるさと投資、鳥取県日野町が取り組む「ふるさと住民票」、専門的なスキルを生かしたふるさとボランティア 等)
- 人々のふるさとへの思いを受け止め、住民以外の者と地域とのつながり、関わりを深めることでその力を地域づくりに生かしていく取組は、多様な人材、新たな視点、より多くの知恵による地域づくりを推進する観点からも重要になっていくのではないか。
- 今後、このような動きを促進するためにどのような方策、仕組みが考えられるか。

# 地方へのヒトの流れをつくる取組

参考

